

発表 1

学校法人日本自然環境専門学校

学校長 五十嵐 実

日本自然環境専門学校の4つの学科

自然環境保全科

- ・森林保全
- ・自然環境の維持・復元
- ・環境調査

環境教育科

- ・環境教育
- ・動植物の分類
- ・飼育・展示
- ・広告・教材制作

環境園芸緑地科

- ・都市緑化
- ・植物形態・分類
- ・樹木医補
- ・環境緑化・造園

自然環境研究科（3年制）

- ・3つの学科から授業が選択できる
+環境調査 +環境分析

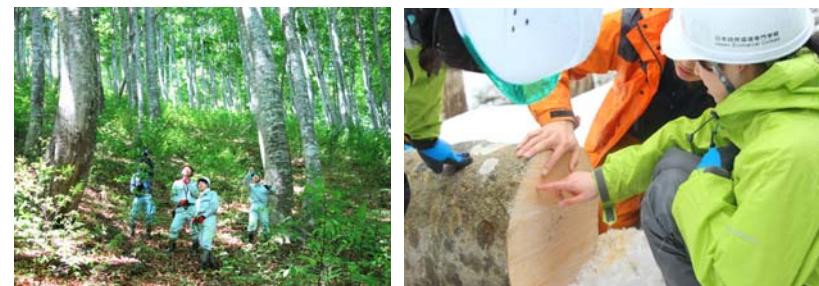
自然環境保全科の特徴

- ❖ 森林の保全・整備
 - ・森林を整備し、健全な森を維持する
- 【講義】森林生態学、林業概論、林業生産論
- 【実習】林業実習、森林測量実習
林業土木機械実習、木工工作実習



自然環境保全科の特徴

- ❖ 新しい林業、広葉樹林業
 - ・スノービーチプロジェクトとの連携
新潟県、新潟大学、森林研究所、森林組合、材木会社
 - ・天然林であるブナの手入れを行い、自然保全・林業に活かす。
- 【実習】里山保全実習



自然環境保全科の特徴

❖ 自然環境の維持・復元

- ・今ある自然環境を維持し・守る
- ・過去に失われた自然環境を復元・再生する

【講義】植物学、樹木学、土壌学、環境復元論

【実習】環境復元実習、獣害対策実習



自然環境保全科の特徴

❖ 環境調査（生物）

- ・環境を知るために、動植物を調べる

【講義】基礎生態学、生物分類、昆虫学、魚類学、鳥類学、動物学、野生動物調査法

【実習】動植物生態野外実習



自然環境保全科の特徴

❖ 環境調査（非生物）

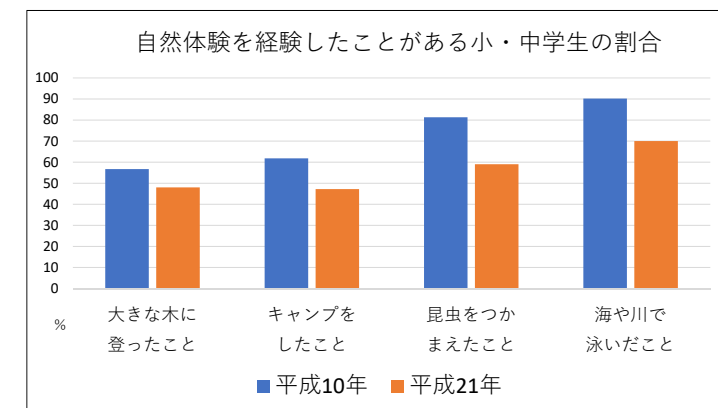
- ・動植物が生息する環境を、科学的に調べる

【実習】動植物生態野外実習

- ・河川の水質、森林土壌、森林環境（照度、地形）



子どもたちの自然離れが深刻



- ❖ 自然を大切にする心が育ちににくくなる
- ❖ 生きる上で大切な感覚が発達しにくくなる

新潟市立沼垂小学校への協力

❖ 学校ビオトープの設計・造成



❖ 学校授業の受託、出前授業



環境教育

❖ 文部科学省が環境教育・環境学習を義務化

- ・ 環境問題に対する知識・関心を高める
- ・ 自然環境を守る人材を育てる

❖ エコツーリズムがブーム

- ・ 自然や歴史、文化を体験しながら学ぶ
- ・ 地域の自然環境の大切さを学び、保全する
- ・ **五頭自然学校との連携**



環境教育科の特徴

❖ 動植物の分類・標本作製

- ・ 動植物を通し、自然環境のおもしろさ、大切さを伝える。

保全科と共通

【講義】生物分類、動物学、植物学、昆虫学、魚類学、鳥類学、野生生物調査法

【実習】動植物生態野外実習



環境教育科の特徴

❖ 野生小動物の生態観察・飼育・展示

- ・ 動植物の生態を知る、解説の場を広げる

【講義】基礎生態学、自然解説論

【実習】自然展示実習



環境教育科の特徴

❖ 自然体験イベント、プログラム

【講義】環境教育プランニング演習

【実習】環境教育実習、環境教育プログラム
環境教育実地研修



環境教育科の特徴

❖ イラストレーター、フォトショップの技術

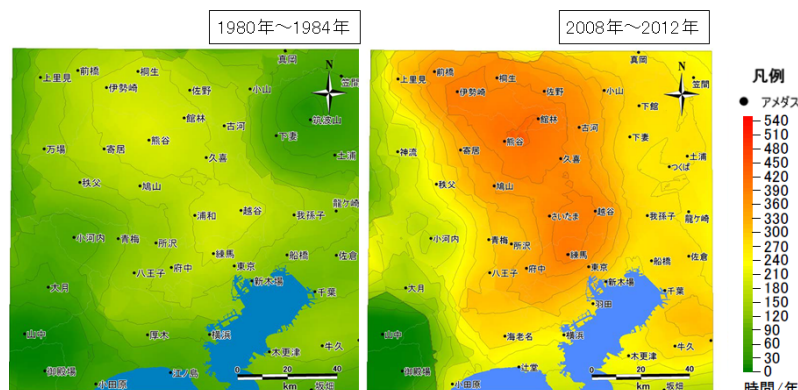
・パネルやチラシを作るさいに必要な技術

【講義】デジタル展示制作演習
チラシデザイン制作
環境学習教材デザイン
DTP実務

❖ 新潟スポーツ公園生態園展示



ヒートアイランド現象が問題



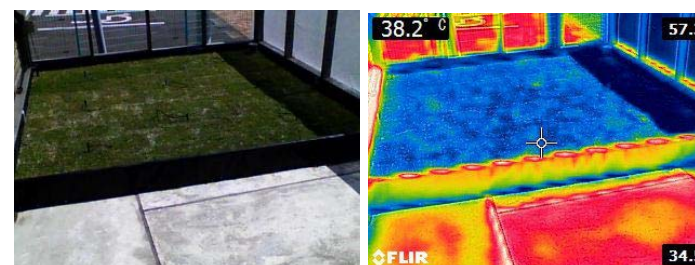
関東地方における30℃以上の合計時間数の分布(5年間の年間平均時間数)

- ・都市部では建物や道路が太陽の熱などに熱せられ、他の環境と比べ高くなる

都市部で緑の面積が減少

❖ 環境緑化による保全

- ・各都市の条例⇒新築・増改築を行うさい、緑化が義務付けられている。
- ・緑化により地表面の温度が下げられる
- ・美しい都市空間の形成に緑や花が必要。



環境園芸緑地科の特徴

❖ 樹木医を目指す

樹木医の受験資格を得るには、植物に関する
実務経歴が7年以上必要。

❖ 樹木医補を取得しよう

樹木医補の資格を取得すると、実務経験の期間が
7年から1年へ短縮されます。

❖ 卒業と同時に樹木医補を取得できる

樹木医補に関する授業を受ければ、卒業と同時に
樹木医補を取得できます。

環境園芸緑地科の特徴

❖ 植物の性質やかたちを学ぶ

- 植物の名前が分かれば性質も分かる
- 植物を管理する上で必要な知識

【講義】植物学、樹木学、植物形態・分類学
植物栽培論

【実習】植物形態・分類実習、植物栽培実習



環境園芸緑地科の特徴

❖ 樹木医補を目指す

- 植物を科学的に調べ、栽培管理に役立てる

【講義】植物病理学、植物生理・生態学
土壌学、樹木診断学

【実習】植物生理・生態実習
園芸基礎実習



環境園芸緑地科の特徴

❖ 環境緑化・造園

- 街に緑をふやし、環境保全につなげる

【講義】環境緑化論、環境復元論、造園学

【実習】緑化施工実習、造園学実習
環境復元実習



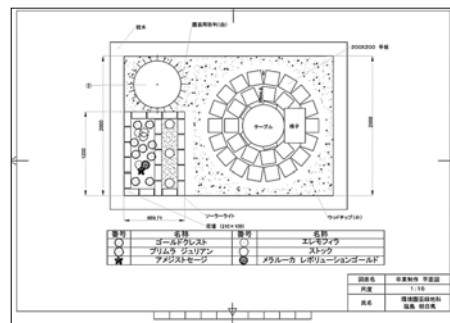
環境園芸緑地科の特徴

❖ 緑地設計、デザイン

- 自分の思い描く緑地空間を設計する

【講義】緑地設計演習

環境緑化パース演習、造園設計デザイン



自然環境研究科の特徴

❖ 3年間で幅広い知識と専門的な技術を身につける

- 全学科の授業が選択できる
- 3年生だけが履修できる授業がある。
- 就職先の幅が広い



自然環境研究科の特徴

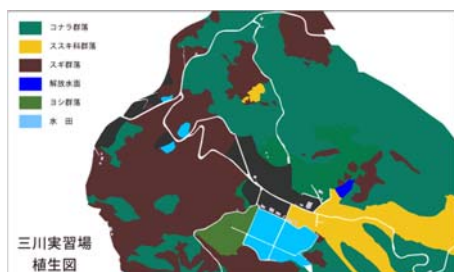
❖ 環境調査・解析

【講義】GIS（地理情報システム論）

ドローン飛行法、ドローン技術

【実習】環境アセスメント実習

⇒調査地の動植物すべてを調べる



環境汚染

水質汚染：工場排水、生活排水



大気汚染：自動車や工場の排出ガス、酸性雨
光化学スモッグ、PM2.5

土壌汚染：農薬、産業廃棄物、



大気や水環境を汚染する

生態系の汚染、健康被害

自然環境研究科の特徴

❖ 環境の科学分析

分析機器を使い、水質や大気を測定・分析する

【講義】分析化学、陸水環境調査法

環境測定分析論、環境計量学

【実習】環境分析実習、水環境保全実習



新潟県からの県管理の河川生物調査

❖ 新島崎川における改修前の調査委託



自然環境研究科の特徴

❖ 研究・実験

自分だけのオリジナルの研究を1年かけて行う

【実習】高度専門実習

＜例＞・森林実習場の昆虫相調査

・鳥類図鑑の作成

・3DCADと3Dプリンタを使った制作

・木製のおもちゃの設計と製作



阿賀野市薬用植物園の整備

❖ 五頭薬用植物園の受託管理

管理が手薄な植物園の活性化

管理業務から実務を学ぶ 造園施工管理

阿賀野市温泉街の観光資源としての再生

観察会や薬用植物による体験



学校としての協力支援

- ❖ 学校長の様々な審議委員などの協力
 - 新潟県環境情報協議会委員
 - 新潟県公共事業再評価審議委員
 - 新潟市環境影響評価審査会委員
 - 新潟市地球温暖化対策実行計画策定委員長
 - 関東地方ESD 活動支援センター企画運営委員
 - 公害資料館ネットワーク運営委員
- ❖ 新潟市立幼稚園教育研究会への講師派遣
 - 「幼児と自然との出会い方」
- ❖ あがの川環境学舎などとのコンソーシアム